

●連載 No.15●

こうなる！ 小中一貫教育



文教の里：多久「学校に行くなら多久 教育するなら多久」

平成25年度開校「小中一貫校のスタート」に向けた取り組み

■問い合わせ 教育委員会 学校教育課 ☎75-2227

小中一貫校の教育の特色

「学力向上」「心の教育」「多久学」「交流活動」「ICT教育」「国際化」の6本の大きな柱を立てています。本年度も、小中一貫校開校に向け、以上の柱を生かした取り組みを日々の教育実践の中で推進しています。

多久学

礼儀正しさや思いやりなど、子どもたちの心を育み、学力の向上につながる論語に楽しみながら親しめる百人一首形式の「論語カルタ」を教育に取り入れています。

第2回多久市小学生論語検定試験を10月に実施しました。検定試験は、「初級」に5年生全員が、「中級」に6年生全員が挑戦。日頃の学校や家庭での論語カルタの取り組みを生かして子どもたちは頑張りました。



▲論語検定試験に臨む児童

- 5年生は、189人全員が見事に合格。
 - 6年生は、198人が合格(合格率92%)。
- 「中級」試験は、かなり難しい内容でした。

合格者には、後日、論語検定試験を主催する漢字文化振興協会「湯島聖堂漢文検定」から認定証が届きます。多久市では、受験料全額を予算化し、子どもたちが「論語」に慣れ親しみ、形として「論語名人」を認定する取り組みとして応援しています。



▲論語カルタ

ICT教育

電子黒板を活用し、子どもたちにとって楽しく、興味関心が高まり、成果を上げる学習を展開しています。

県内の市町に先駆け、電子黒板を市内小学校全教室に、中学校は学級数分を教室や特別教室に配備するなどICT利活用教育に力を入れています。



▲電子黒板活用授業研究会

本年度は、市内全教師が参加する「電子黒板活用授業研究会」を6回開催し、学力向上を目指した教師の授業づくりを工夫しています。

国際化

本年度から、全国の小学校5・6年生に、週1時間の「外国語活動」が教育課程に位置付けられました。

多久市では、ALT2人と市採用の小学校英語活動支援員1人を配置して、子どもたちの英語教育に力を入れています。多久市の子どもたちは、小学1年生から英語の歌やゲーム等で楽しく「英語活動」を学んでいます。そのために、担任とALTや英語活動支援員は、連携を生かした授業づくりを工夫しています。「外国語活動」は子どもたちが大好きな授業です。



▲ALT外国語活動の授業

12月の定例教育委員会は

13日(木)

時間 13時30分

場所 市役所4階 大会議室東

■問い合わせ

教育委員会 教育総務課 ☎75-13450

(傍聴は自由です)



『わたしたちの多久市』

発行：多久市小学校
社会科編集委員会編
発行年：平成21年3月

『わたしたちの多久市』は、市内小学校の社会科教材として社会科担当の先生によって作成されました。

多久市のあらまじや、農業、工業そして各校区の特色や人々の暮らしのうつりかわり、さらには多久市の歴史について分かりやすく学べる内容となっています。

多久市の農業では、地元で特色のある青しまうりや、女山大根、桐岡ナス、納所ピワなど農産物を例に、農業について学べるようになっていきます。また、市内各所のだまざまな分野の工場について「工場見学」を想定して、作業工程や製造されている製品についての写真、社長や工場長の話など、絵入りで掲載されています。

さらに「論語を学んだ郷土の先覚者たち」と題して、生いたちや功績が掲載されており、郷土の偉人に親しむことができます。